

2023年4月20日



## 「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～株式会社 mei-meい のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社 mei-meい（代表取締役 福田 裕司）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

### 記

1. 契約締結日 2023年3月24日（金）
2. 融資金額 125百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 設備資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

### 6. 株式会社 mei-meい の概要

代表者	福田 裕司
本社所在地	愛知県名古屋市東区砂田橋四丁目1番57号 メガシティテラス1棟301号室
業種	サービス付高齢者向け住宅の運営、看護・介護サービス業
設立年月日	2019年4月19日

### <記念盾贈呈式の様子>



株式会社 mei-meい  
代表取締役 福田 裕司 氏

株式会社名古屋銀行  
茶屋坂支店長 柴山 知之

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について

[https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin\\_PIF.pdf](https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf)

以上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社 mei-meい ～



2023年3月24日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社 mei-mei に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社 mei-mei の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	株式会社 mei-mei
所在地	愛知県名古屋市東区砂田橋 4-1-57 メガシティテラス 1 棟 301 号室
売上高	161 百万円
事業内容	サービス付き高齢者向け住宅運営、訪問看護・介護サービス

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	125,000,000 円
資金使途	設備資金
融資期間	10 年

## 目次

1. 企業情報	3
①会社概要	
②組織図	
③各職種業務	
④沿革	
⑤会社理念	
2. 事業内容	7
①サービス付き高齢者向け住宅メリィホーム	
②訪問看護ステーション	
③訪問介護ステーション・居宅介護事業所	
3. その他の活動	9
①デスカンファレンスの実施	
②システム導入による業務効率化	
③地域住民・学生向け勉強会の開催	
④SDGs 宣言	
4. インパクトの特定	12
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	16
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	17
7. モニタリング方法	17
8. 総括	17

## 1. 企業概要

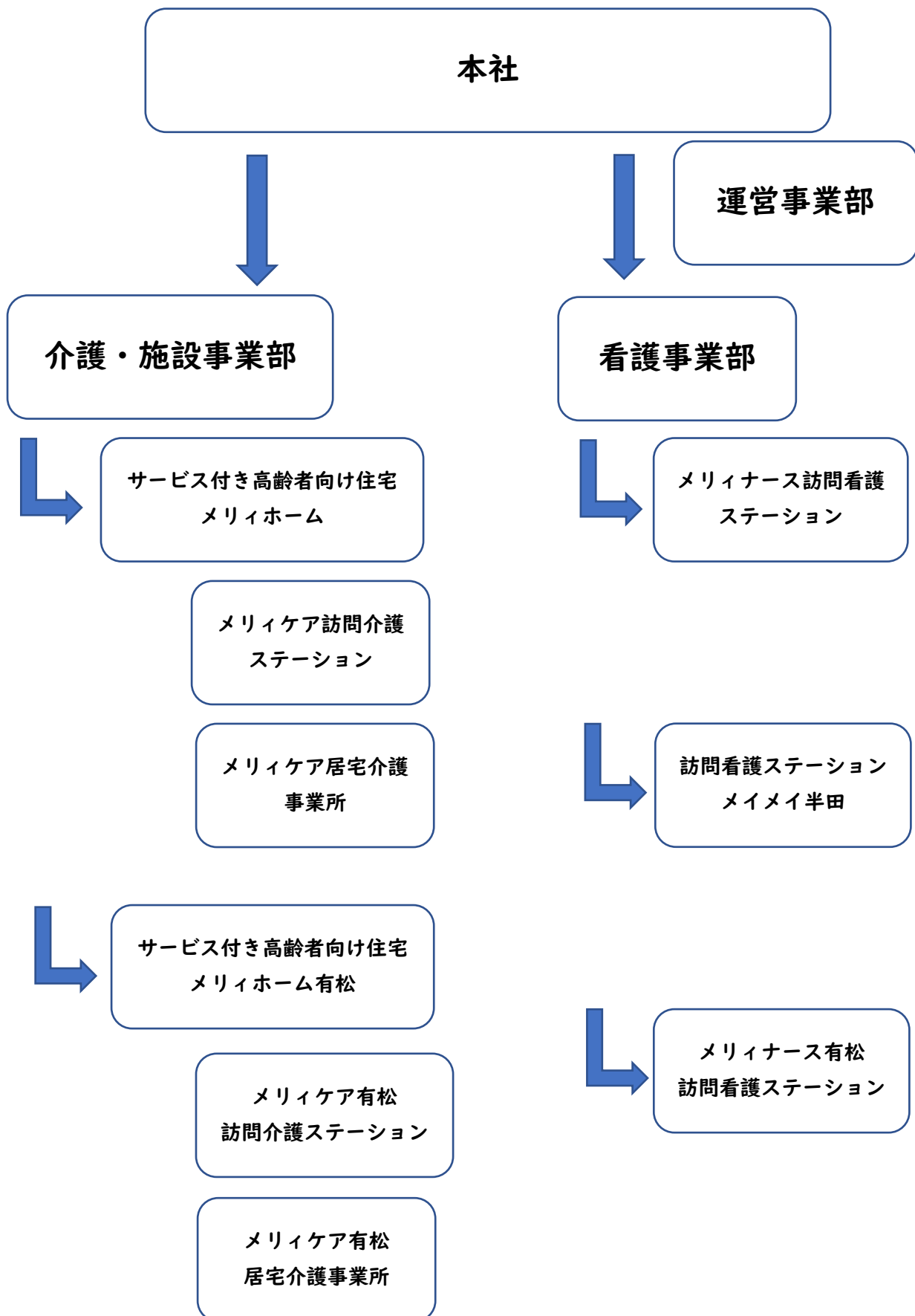
**mei-mei**

## ① 会社概要

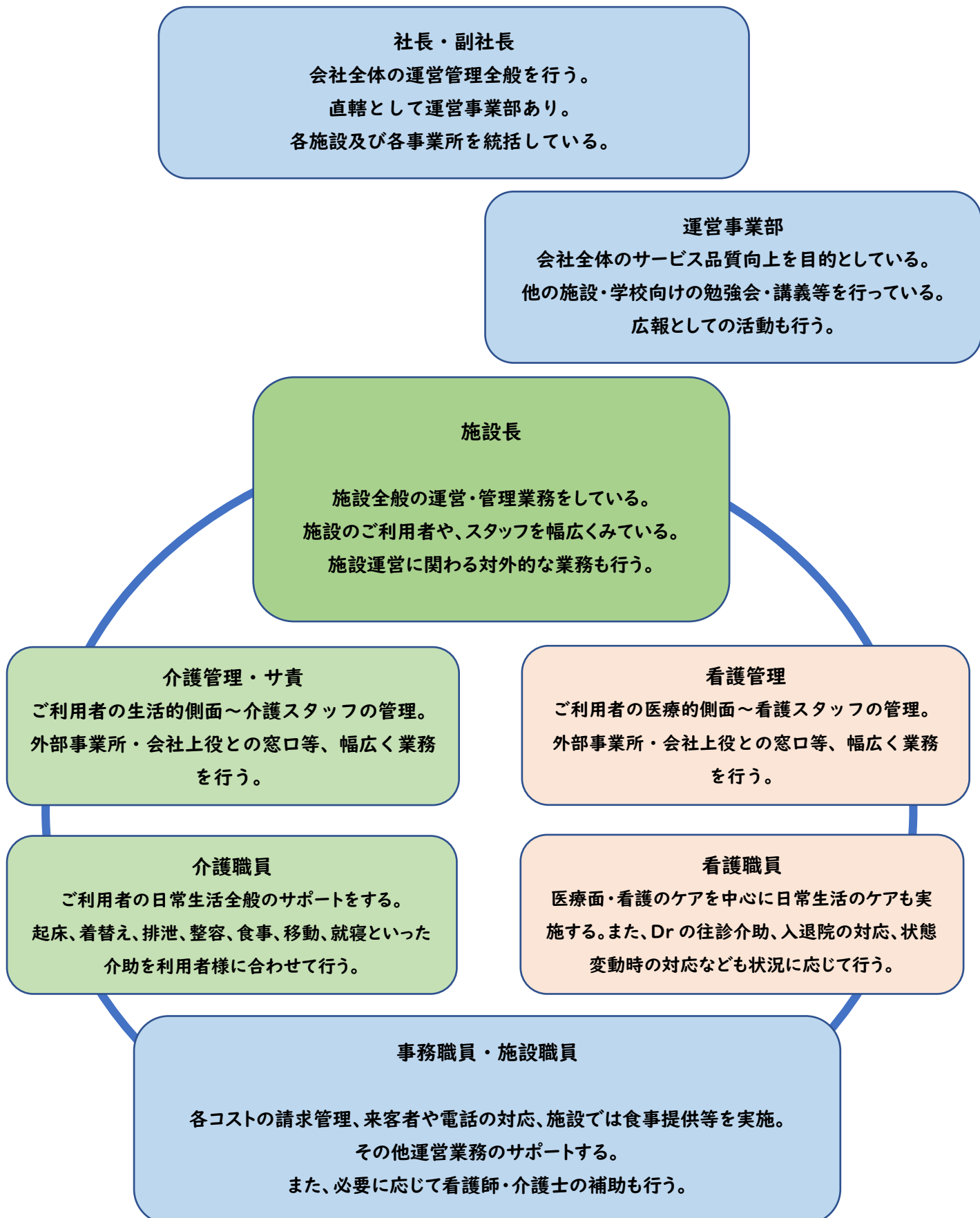
会社名	株式会社 mei-mei
設立年月日	2019年4月19日
代表取締役	福田 裕司
本店所在地	愛知県名古屋市東区砂田橋 4-1-57 メガシティテラス 1 棟 301 号室
従業員数	24 名 ※2023 年 2 月末時点
決算日	8 月 31 日
事業所	サービス付き高齢者向け住宅メリィホーム : 愛知県小牧市小木 3 丁目 114 番地
	メリィナース訪問看護ステーション : 愛知県小牧市小木 3 丁目 114 番地
	メリィケア訪問介護ステーション : 愛知県小牧市小木 3 丁目 114 番地
	訪問看護ステーションメイメイ半田 : 愛知県半田市美原町 1 丁目 2-1 キャッスルグランデ 101 号室



② 組織図



③ 各職種業務



#### ④ 沿革

2019年4月	株式会社mei-meい設立
2021年2月	サービス付き高齢者向け住宅メリィホーム開設 メリィナース訪問看護ステーション開設 メリィケア訪問介護ステーション開設 メリィケア居宅介護事業所開設
3月	訪問看護ステーション メイメイ半田開設

#### 【社名について】

Medical care & Relaxation (医療とくつろぎ) を理念として考えたメリィホーム (Me Ry home) を由来とし、ひつじを連想させる親しみやすさを込めてmei-meい (メイメイ) と名付けた。

#### ⑤ 会社理念

## 「全ては、皆様の満足度の向上のために」

ケアを受ける側も、ケアを行う側も、その周囲の関係者も、全て会社理念の「皆様」の中には含まれていると当社では考えている。穏やかな気持ちでケアが行え、同じ1分1秒でも利用者にとってより良い時間の提供につながるように企業として体制を整えていくことで、従業員一人ひとりがこの理念を胸に働き、自然と笑顔に包まれる会社となることを目指している。



## 2. 事業内容



当社では、高齢者が安心して快適に過ごせるような、サービス付き高齢者向け住宅・訪問看護・訪問介護などのサービスを提供している。24時間体制で介護・医療サービスを受けることができる環境のもと、利用者の身体状況に合わせた安心・快適な暮らしをサポートしている。

### ① サービス付き高齢者向け住宅メリィホーム

看護	介護	リハビリ
		
熟練の看護師が医師や薬剤師など、多職種との連携を身体状況に合わせて行います。	入居者様の日常生活の介助や排せつの介助を行います。経験豊富なスタッフがケアを提供します。	併設施設の理学療法士がプランの作成・指導を行い、効果的なリハビリを行います。

サービス付き高齢者向け住宅とは、日常生活や介護に増え案を抱く高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように居室の広さや設備、バリアフリー構造に関する明確な基準を設けて義務付けた高齢者向けの住宅であり、通称「サ高住」や「サ付き（サツキ）」と呼ばれることも多い。

一般的なサ高住の対象者はADLが自立していることが前提となっている中で、当施設においては併設事業所に看護師・介護士が24時間常駐するため、医療的ケアが必要な利用者の受入れも行っており、安否確認と生活相談のサービスを提供し続けることで、高齢者が安心して暮らすことが出来る環境を創出している。

## ② 訪問看護ステーション



看護師などが居宅を訪問して、主治医の指示や連携により行う看護（療養上の世話又は必要な診療の補助）を行う事業所である訪問看護ステーションは、病気や障がい等により入院や施設入居の必要性があったとしても、医療機器を使用しながらでも居宅で最期まで利用者が暮らせるように多職種と協働しながら療養生活を支援することを目的としている。

身体的・精神的な看護はもとより、入退院（入所・退所）についての相談、必要に応じた在宅ケアサービスの紹介、関連機関との連携などにより、利用者様のご希望に沿った療養生活を叶えるための様々な支援や調整を行っている。要介護1～5または特定疾病が原因で介護を必要とする方を利用対象としている。

## ③ 訪問介護ステーション・居宅介護事業所

サービス利用者（高齢者や障害者）の自宅を訪問し、食事、排せつ、入浴、家事などの介助（身体介護・生活援助）を行い、利用者の生活や心身を「自立支援」「重度化防止」等の観点からサポートすることを目的としている。

「介護保険法」や「障害者総合支援法」に基づいて介護サービスを提供しており、介護福祉士等の資格保有者や、定められた研修を修了した人材しか従事することができないため、在宅介護の「専門職」としてニーズが高まっている。

### 3. その他の活動

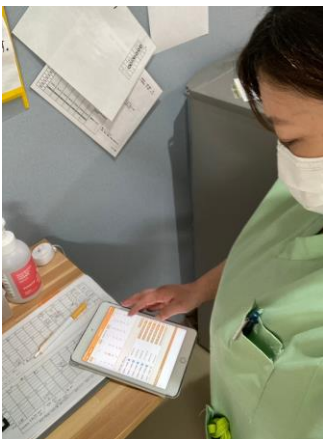
#### ① デスカンファレンスの実施



デスカンファレンスとは、終末期ケア、緩和ケアの現場等で行われる死後のカンファレンスである。スタッフを集め、患者やご遺族から得た情報・患者の看護記録・看取り業務の振り返りを共有した上で、スタッフ同士意見交換を行っている。

終末期利用者のケアを行う機会も多い当社では、利用者の看取り後に「出来たこと」「出来なかったこと」などを振り返ることにより、患者に対してのケアを見直し、次に活かすための意義ある場であるとともに、直接的な死に直面した職員側の精神的ケアをはかる場でもあり、人材育成を通じてケアの質向上に繋がっている。

#### ② システム導入による業務効率化



当社では、レセプト、訪問記録、タブレット記録、ケア連携、口座管理、備品調達に至るまでの業務において、システムを導入することで業務効率化が成されている。

単純な事務作業の低減だけでなく、情報共有の早期化、職員間での状況把握、意見交換の促進等、導入システムを有効に活用することで、労働時間の圧縮と、働きやすさの向上が両立されている。



### ③ 地域住民・学生向け勉強会の開催



**事例紹介**

**要約情報**


ご利用者様 4氏、96歳 男性 介護1 生活保護 独居  
 病状：アルツハイマー型認知症(毎日日常生活に支障をきたす症状や行動意思疎離の病状で  
 が時々見られ介護が必要とされる)、アルコール性肝炎、大腸癌(術後ストマあり)。  
 生活：デイサービス(火木)訪問ヘルパー(月水金)の介護サービス利用、ストマ管理や処  
 理を含めて生活できていた。  
 家族：近隣に次男がいるが不仲(本人と亡母が作った借金を現在も2重に働き返済中、これ  
 以上介護や金銭的負担はできない)、コロナ感染も避けたく食事を一頓届ける程度の  
 関わり。  
 初回導入：10月中旬にコロナ罹患になった認知症のご利用者様。  
 人工肛門がありストマ交換必要。訪問看護は受けておらず。  
 すべてが事業所がコロナのため対応できないため急速訪問看護に依頼があり。  
 使用している事業所がすべて介入困難なため医療保険にて訪問看護の介入とな  
 った。

**〇当事業所のコロナ対応策**

- 訪問看護は1人に限定し訪問(管理職)
- 標準予防策を徹底する(ガウン、フェイスシールド、マスク、帽子、手袋)
- 可能な限り1日の最後に訪問(16:00～、17:00～、18:00～)
- コロナ対応中は他職員とも接触を避ける。

**〇本人へのケア**

- ストマ管理、脱出し、ストマ交換、ストマ周辺の消毒
- リハビリパンツ、バット交換、更衣、認知症のためトイレに行けたり行けなかつたりと失  
 禁率が多く全更衣を2日1回ほどあり
- 食事セッティング(宅食)
- 洗濯対応
- できる範囲での清潔ケア(お風呂、掃除)



当社では地域貢献の一環として、地元の希望者向けに認知症勉強会の開催や、大学にて介護士育成のための講義を積極的に行っている。

自社の持っている知識・ノウハウ・経験を少しでも多くの人と共有することで、より豊かな生活を送ることのできる人をひとりでも増やしたいとの強い考えがあり、勉強会・講義ともに多くの参加者から喜びの声ももらっている。

④ SDG s 宣言



## 株式会社mei-me SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、  
SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2023年1月5日  
株式会社mei-me 代表取締役 福田 裕司

### ✿ — SDGs の達成に向けた取組み — ✿

#### 雇用・ダイバーシティ

職員ひとりひとりの健康や働き方の多様性を尊重し、やりがいを持って仕事に取り組める職場を提供します。  
《具体的な取組:健康宣言の実施、定時退社の励行、あいち女性輝きカンパニーの取得、資格受験費用の会社全額負担、70歳まで勤続可能な雇用制度》



#### 地域社会貢献

地域住民の医療・介護に対する理解を深めるため、社内外において啓蒙活動を実施します。  
《具体的な取組:当運営事業部が中心となり、地域住民・福祉大学等へ医療・介護セミナーを開催》



#### 環境

環境へ配慮し、地球にやさしい介護・看護に努めます。  
《具体的な取組:利用者様へフードロスに配慮した食事提供の実施、施設へのLED照明採用、営業車や福祉車両は順次エコカーへ切替を検討》



#### 事業継続

自然災害を含む外部の脅威に対し、ホーム利用者様や訪問介護・看護を必要とする方へ、継続的なケアを維持するための対策を講じます。  
《具体的な取組:事業継続計画の策定、コンプライアンス・法令順守の徹底》






株式会社 mei-me ×



当社は2023年1月にSDGs宣言を行っている。雇用制度・労働環境の整備や、勉強会・セミナーを通じた地域社会への貢献活動、フードロスやエコカー導入による環境負荷低減活動、利用者のための事業継続力の強化といった内容を謳っており、今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDGs宣言と共通した分野でのKPIを設定する。

#### 4. インパクトの特定

##### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社 mei-mei の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社 mei-mei の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社 mei-mei の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社 mei-mei が直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社 mei-mei の事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

## ②インパクト分布図

インパクトカテゴリ	同社事業			
	【 8730 】		【 8810 】	
	高齢者・障害者用居住 ケアサービス業		宿泊施設のない高齢者・ 障害者向け社会事業	
	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水（入手）				
食料				
住居	★			
健康・衛生	★	★	★	
教育				
雇用	★★	★	★★	★
エネルギー				
移動手段				
情報				
文化・伝統				
人格と人の安全保障	★	★	★	
正義				
強固な制度・平和・安定				
水（質）				
大気				
土壌				
生物多様性と生態系サービス				
資源効率・安全性				
気候				
廃棄物		★		★
包摂的で健全な経済				
経済収束				

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りである。サ高住、訪問看護、訪問介護における高齢者に対する福祉事業は、利用者の豊かな暮らしを守り、生活の質向上に寄与している点で『住居』『健康・衛生』『人格と人の安全保障』についてのポジティブインパクト拡大に貢献していると考えられる。

当社は、利用者の満足度向上をはかるためにサービス品質の向上をはかるためには、従業員の満足度の

向上も不可欠であるとの考えを持っており、デスカンファレンス実施等の支援体制も構築されているため、風通しの良い職場が形成されている。

これにより同業他社に比べて離職率が格段に低く、通常よりも多い人員にて施設運営を行うことができることで、組織のスラック（余裕）が生まれ柔軟な労働環境が創出される。その結果が「サービス品質の向上」及び「従業員の定着率向上」に繋がるという正の循環をもたらし、ポジティブインパクトを拡大し続けている。

また、『雇用』の面においても、定期的な社内勉強会や資格取得支援制度、OJT マニュアルの整備が為されており、ポジティブインパクトの創出に寄与している。

一方で、『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』『廃棄物』『包摂的で健全な経済』のカテゴリにおいてネガティブインパクトが確認された。

『健康・衛生』『人格と人の安全保障』の面においては、利用者への虐待等の懸念が主な要因であるが、厳格な管理と従業員間での相互牽制の体制の構築維持によりネガティブインパクトの発生を防止するとともに、利用者の状況に合わせた適切な食事の提供・改善等によりフードロス削減施策を実施しており、『廃棄物』に対するネガティブインパクトの縮小も進めている。

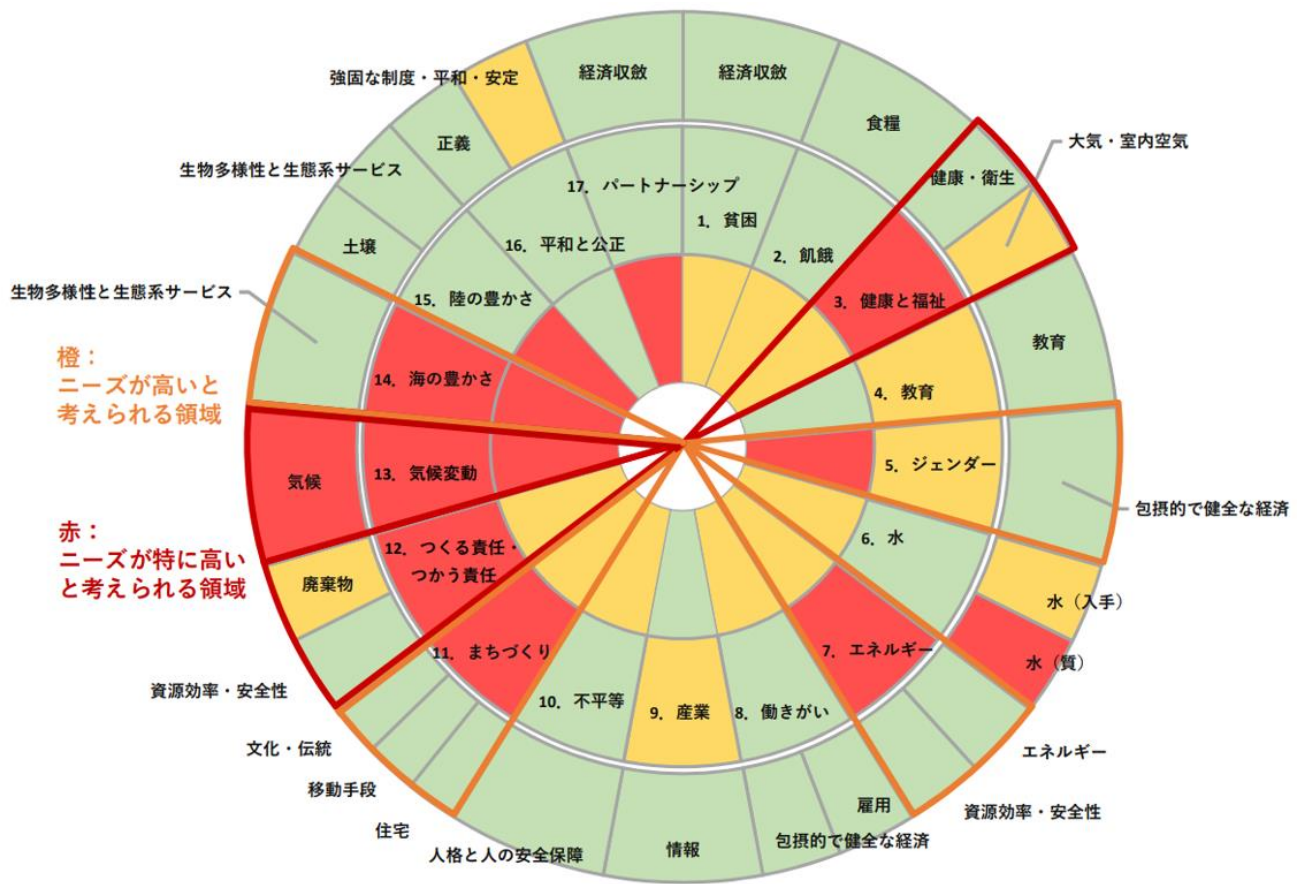
インパクトマッピングの対象外となるが、事業拡大に伴う送迎等の事業活動における CO2 排出量増加懸念が考えられ、これに対して今後は社用車をエコカーへ順次切り替えていくことでネガティブインパクトの縮小に努めていく。



③ 国内のインパクトニーズ



環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した株式会社 mei-mei のインパクトと対応する SDGs のゴール「3, 5, 11, 13」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



## 5. 測定するKPI


### ①より良いサービスを、必要としている人々へ（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」
関連するSDGs	 
対応方針	事業拡大、サービス品質の向上、BCP対策
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社サービスのニーズが高い地域に進出し、売上高200%増を達成する（実績報告）</li> <li>・技術勉強会を1か月に1回実施し、従業員の知識・技術向上を図りサービス品質を向上させる（実績報告）</li> <li>・有事の際にも適切なサービス提供が可能な企業となるためにBCP計画を策定する（内容開示）</li> </ul>

### ②従業員満足度の維持・向上（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	誰もが働きやすい職場づくり
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月間の残業時間5時間以下を維持する（実績報告）</li> <li>・あいち女性輝きカンパニーを取得する（実績報告）</li> </ul>

### ③環境負荷低減（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連するSDGs	
対応方針	CO2排出量の削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社用車の半分以上をエコカーに切替え、CO2排出量の削減に寄与する（実績報告）</li> </ul>

## 6. インパクトの管理体制

株式会社 mei-meい は代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIFにおけるインパクトについては、と法人本部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 福田 裕司
-------	-------------

## 7. モニタリング方法

株式会社 mei-meい に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

## 8. 総括

株式会社 mei-meい の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社 mei-meい が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。